

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所いんくる		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業員評価実施期間	令和6年9月1日		令和6年9月30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いんくるでは、放課後等デイサービスが制度化されていなかった平成17年より、学齢期の放課後と長期休みに、ガイドヘルプ、ホームヘルプにてサポートしてきました。特に母親の負担、兄弟も含めての家族生活の大変さ、またさまざまな障がい特性の子どもの生きづらさを直に感じてきました。いんくるは障がいの程度や種別、年齢に関係なく、たくさんの利用者とその家族に出会い向き合ってきた積み重ねが法人の強みになってきていると思います。障がいのある子どもたちと出会う中で「こんな場所があってこんなことができたらいいな」という思いから、いんくるの放課後等デイサービスがスタートしました。	いんくるでは、障がいのある大人の方や親亡き後が切実な家庭とも長く関わってきました。デイサービスだけの充実ではなく、ライフステージを見据えながらのサポートを心がけています。そのためにスタッフ間での意見交換や家族との連携を大切にしています。また学校、相談支援専門員、他の事業所とも連携することで、一人ひとりの子どもと家族が安心して暮らしていけると考えています。	令和2年4月より放課後等デイサービス10名と生活介護10名の多機能型事業所として再スタートしました。生活介護では支援区分6の障がいの重い方々が地域の中でどのような活動をしていくのかを取り組んでいます。そうした実践を放課後等デイサービスのスタッフも共有することで、学齢期に必要なことや大切なことがさらに明確になってくると思っています。

2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、特別支援学校と特別支援級のそれぞれの小学低学年から高校生までの児童の利用があります。グループや個別での活動など取り入れています。学校によって下校時間の違いもあり、スタッフが分散し十分に組み合わせていない部分があります。	それぞれの学校の時制変更があり重なってしまうことでスタッフが足りなくなってしまう。また全員が揃うまでに時間がかかってしまい活動に取りかかれぬことも要因になっています。	法人全体で非常勤スタッフを増員することで改善していきます。
2	放課後等デイサービスだけでなく、法人の他の事業も含めて取り組みや思いなどの情報発信ができていません。	業務の一つに入っておらず、誰がするのか曖昧になっています。	業務を分担する中で、Instagramの担当を決めて定期的に発信していくようにします。
3	今ある活動や子どもの行動で気になることがあった時、その評価や根拠、方向性や発想、修正などに掛かりが遅れたり、「今までこうだったから」とそのままになったりすることがあります。	スタッフの経験年数により「気づき」や「支援スキル」に差があります。	事例検討会や外部研修への機会を増やしていきたいと思いません。